

ワーケーション体験ツアー等実施業務企画提案仕様書

1 業務名

ワーケーション体験ツアー等実施業務

2 業務の目的

近年テレワークの普及や働き方改革による多様で柔軟な働き方の選択など、新しいワークスタイルの定着が進む中、首都圏等における社員の働く場所の自由度が高い企業や福利厚生に力を入れている企業等を対象に、夏から冬にかけて季節を選べるワーケーション体験ツアーを実施し、本市と関わりを持つ関係人口の増加やサテライトオフィスを含む企業進出、さらには二拠点居住などの移住・定住につなげていくことを目的とする。

また、参加者アンケート等の分析や令和2年度から実施している体験ツアーの実績を踏まえ、次年度以降のワーケーション推進施策の展開につなげる。

3 委託業務の内容

(1) 体験ツアーの企画・運営・集客に関する業務

業務実施にあたっては、本事業が将来的な企業立地や移住などにつながるようなワーケーションの仕組みづくりを目的としている点に留意すること。

[参加対象]

ア 体験ツアーの参加対象は、次に該当する者とする。

- ① ワーケーションの導入を検討している企業に所属している者
- ② ワーケーションを通じて地域との交流やビジネス的なつながりを求めている企業に所属している者
- ③ 地方への拠点開設（サテライトオフィス含む）を検討している企業に所属している者
- ④ いわゆる「転職なき移住」の制度を導入する企業に所属する者や、個人事業主で、地方への移住や二拠点居住を検討している者

[ツアー内容]

イ ツアー受け入れ期間は概ね7月～2月に設定すること。

なお、受け入れ期間については新型コロナウイルスの感染状況により変更となる可能性がある点に留意すること。

ウ 移住検討者向けのオプションを設定することが望ましい。

エ 函館までの移動手段・宿泊施設・ワークスペース・イベント（※任意選択 キ参照）・アクティビティ（※任意選択 サ参照）をセットにした、3泊4日以上のパッケージツアーを企画すること。

オ 関東地方発着としたパッケージツアーを企画すること。

カ 1回のツアー定員については、利用するワークスペースの定員等を考慮のうえ概ね10名程度に設定し、成果連動分の委託料の予算の範囲内で募集人数の目標を設定し企画すること。

なお、成果連動分委託料の予算は参加人数100名、延べ泊数360泊を想定して算出していることに留意すること。

キ イベントについては、次の点に留意した内容とすること。

- ① [企業向け①]: 函館のワーケーションの魅力の紹介、ワーケーション導入

によるメリットの紹介・体験など、企業のワーケーション実施を促すイベント

- ② [企業向け②]：地場企業や高等教育機関、市民や団体等との交流や情報交換に繋がるようなイベント
- ③ [移住検討者向け]：函館で暮らすことをより具体的にイメージすることができるイベント

[宿泊施設・ワークスペース]

ク 昨今の新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況に鑑み、宿泊施設の選定にあたっては、感染症防止対策を講じている施設等とともに、対策を講じている旨をHP等においてPRしていることが望ましい。

ケ 宿泊施設については、参加者のニーズに合わせた施設を複数用意すること。

コ 滞在期間中のワークスペースについては、下記の公共施設以外に特に指定はないが、通信環境やセキュリティなど快適なテレワーク環境が整備された施設を複数提供すること。

また、ワークスペースには、夜間(18時以降)も利用可能な施設も複数含まれていることが望ましい。

(宿泊ホテルの会議室を貸し切り、コワーキングスペースとする方法も可)

・函館市臨海研究所(中会議室・小会議室)

【定員：中会議室4～6名程度 料金：250円/1h】

【定員：小会議室3～4名程度 料金：150円/1h】

※市内の民間ワークスペースについては、函館市ワーケーションサイトなども参照のこと

ワーケーション in 函館URL：<https://h-workation.jp/work/>

[アクティビティ]

サ アクティビティについて、他地域との差別化を図ることのできる「函館ならでは」の内容を複数設定し、利用者が選択できるようにすること。

シ 設定したアクティビティについてはその内容について記載すること。

[集客]

ス 集客については企業や参加者に対して訴求力が高く、参加意欲を高めるような事業PRを実施すること。

[その他]

セ 体験ツアー参加者の家族も同行できるような家族用プランの設定等、ターゲット層の参加意欲を高めるようなツアーオプションの提案があれば記載すること。

なお、ツアー参加者の家族等、同行者については成果連動実績の対象外とする。

ソ 集客の際には参加者アンケートの協力および事業記録用に写真撮影をお願いする旨を周知すること。

タ 滞在期間中、何らかの形で市の担当者とツアー参加者が接点を持つ機会を設定すること。なお、ツアー参加者には、滞在期間中に市の担当者との情報交換の場等の機会がある旨を周知すること。

(2) 新たなPR先企業の開拓・情報発信に関する業務

働く場所を選ばないテレワークでの就業が可能な企業に加え、新たなターゲットとして近年の働き方改革に対応し、多様で柔軟なワークスタイルの導入や社員の福利

厚生の充実に取り組む企業に向け、企業単位での研修や、部門・チーム毎でのワーケーション参加を促すなど、函館市でのワーケーションを効果的且つ戦略的にPRできる企業開拓や情報発信を企画・実施すること。

[企画例①]

- ・ 企業人事・総務担当者への情報発信用Webサイト
- ・ 企業または企業に所属する個人向け福利厚生情報発信用WebサイトなどのWebサイトへバナーを掲載し、体験ツアーの周知を含む、函館のワーケーション環境をPRする。

[企画例②]

前項第1号キで企画したイベントを個別の商品として、企画例①のWebサイトで紹介する。

(3) 参加者アンケートの実施・集計・分析に関する業務

ア アンケートの実施および分析については、参加者のニーズや課題を適切に把握するため、効果的な手法を検討の上、実施すること。

イ 本アンケートは、将来的に民間事業者が主体となり、本市のワーケーションを推進する事業を企画・運営するために必要な、参加者ニーズや気づきなどを抽出することも目的の1つとしていることに留意すること。

ウ アンケート内容については、本事業の目的達成につなげるため、最低限次の項目について調査を行うこと。なお、アンケートに記載すべき内容は、市と契約候補者が協議して決定すること。

- ・ ワーケーション継続意向の有無とその理由
- ・ ツアー全体の満足度とその理由
- ・ ツアー費用助成への評価
- ・ ワークスペースに対する評価
- ・ 宿泊施設に対する評価
- ・ ワーケーションを実施するにあたり自治体に求める支援
- ・ サテライトオフィス設置希望の有無とその理由
- ・ 移住希望の有無
- ・ その他、イの目的を成すために必要な事項

(4) 次年度以降のワーケーション推進に係る提言に関する業務

次の項目に沿った提言を取りまとめること。

- ・ 参加者アンケート等を分析した結果を基に確認した全体の傾向や浮き彫りとなった課題と改善策を提示すること。
- ・ 参加者アンケートの結果の他、文献調査や先進事例調査等により、目的、ニーズ、ターゲット、滞在期間などに応じたワーケーションのスタイルを類比的に整理し、ワーケーションの推進により本市に期待される効果ならびに本市の強みや特徴、活用すべきコンテンツ等を分析すること。
- ・ 分析結果や過去の体験ツアーの実績等を踏まえ、本市に適したワーケーションのスタイルを検討し、次年度以降本市がワーケーションを推進するにあたり、目指すべき方向性を提示すること。

4 提案内容に関する事項

提案内容については、前項に記載する業務内容等を踏まえたものとするが、次の事項についても留意すること。

(1) 体験ツアーの企画・運営・集客に関する業務

- ア パッケージツアーの企画について、移動手段・宿泊施設・イベント・アクティビティ等を組み込んだ、具体的なモデルプランを記載すること。
- イ 体験ツアーの運営について、運営体制および具体的な運営方法および業務スケジュールを記載すること。
- ウ 体験ツアーの集客について、具体的な集客方法を記載すること。

(2) その他

- ア 業務受託金額については、別冊募集要項第4項の委託料上限額（定額払い）の範囲内で積算すること。
- イ そのほか、委託料上限額（定額払い）の範囲内で効果的かつ実施可能な提案がある場合には積極的に提案し記載すること。

5 業務上の留意事項

業務内容の詳細については、企画提案の内容を基本として、市と契約候補者が協議して決定する。

6 提案方法

企画提案指示書に沿った企画提案書を別冊募集要項に基づき作成し、必要部数を提出すること。

7 提出期限

令和4年（2022年）5月13日（金）午後5時00分 必着

8 提出場所

函館市経済部工業振興課企業立地担当（担当：今井，中川）
〒040-8666 函館市東雲町4番13号 函館市役所3階 電話：0138-21-3321（直通）